

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

7月号



学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

豊かな心を育む

校長 岩崎 健治

梅雨の晴れ間に、初夏の風が吹き渡っています。学校教育目標の身に付けたい力の一つとして「豊かな心」があります。その具体的取組目標は、「体験を通し、多様な価値観に触れることで育む豊かな感性」や「自分を律する態度と人を思いやる優しさ」を育成するとされています。今年度は、昨年新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施できなかった「なかよしタイム」（縦割り活動）や「なかよし遠足」（全校遠足）を計画しています。体験学習や校外学習の実施、地域の方の畑に出かけたり、稲や野菜の栽培をしたりと様々な体験活動が始まり、人とのかかわりが進んできました。感染症対策を講じて、可能な限り多様な価値観に触れて豊かに感性を育むことを大切にしながら人との交流を深め、人を思いやる優しさが深まることで、子どもたちの「豊かな心」の成長を育んでいきたいと思えます。



《育っている夏野菜》

また、GIGAスクール構想が本校でも「新しい学び」としてスタートしました。一人1台の端末を使い、ICT「Information and Communication Technology」（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）を活用した教育活動が進むことで、教職員や児童同士のコミュニケーションを手助けしてくれる手段となっています。他者とかかわり、情報や伝えたい気持ちをインターネットを介してやりとりしながら学習を進めていきます。そこで大切になるのが「情報モラル」です。インターネットを活用する機会が増える中、子どもたちの安全で安心な「新しい学び」を保証する上で、とても重要なポイントとなります。ルールを守り、正しく使える力を身に付けていきます。

本来、人とかかわるということは、相手に関心をもつこと、自分の心を開くこと、相手に心を寄せること、そしてそれを言葉や行動に表していくことだと思います。コロナ禍においても、人を思いやる優しさは、人とかかわりの中から生まれてきます。「新しい学び」を活かしながら、多様な価値観に触れることで豊かな感性を育み、人とかかわりを大切にして、あらゆる機会に、学校や、家庭、地域で、目標を具現化している子どもの姿が、たくさん見られるよう、「豊かな心」の教育を進めて参ります。